

※重要

令和 3 年 3 月 20 日

登山者の皆様へ

上川町
(株) りんゆう観光

令和 3 年度夏季シーズンに係る黒岳石室（野営指定地）の利用について

平素、黒岳石室及び野営指定地の管理運営にご理解ご協力をいただきありがとうございます。さて、令和 3 年度の黒岳石室(野営指定地)の夏季シーズンの管理運営体制について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のとおり運営することといたします。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

- 定員 80 名のところ 20 組（最大 32 名）まで制限し開放いたします。なお、石室関係者（利用者やスタッフ等）で新型コロナウイルス陽性者等が出た場合や今後の感染状況により、施設の開放を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 例年より定員を制限しての開放になります。週末や混雑予想日はご利用を控えていただきますよう強くお願いいたします。石室は避難小屋としての性質が強いため、事前申し込み制などで利用の制限ができないことをご理解ください。
- おおむね 2 m ごとにビニールシートで区画をしていますので、1 人もしくは同居の方 2 名でご利用いただきます。広く皆様にご利用いただきたいため、なるべく8 名以上のグループでのご利用はお控えください。
- 石室内部ではマスクの着用を徹底し、大声での会話はお控えください。また飲食は屋外でお願いします。入室の前には必ず手指のアルコール消毒を実施してください。
- 石室の寝室棚についてはアルミマットを敷き、利用の毎アルコールで消毒します。
- 極力換気がいきわたるように努力しますが、窓がない施設ですので十分な換気ができないことをご理解ください。また換気により室内温度が下がる場合があります。ご了承ください。
- 毛布の貸出、および寝袋のレンタルは実施していません。ご自身でご用意ください。
- アルコール類の提供は行っていません。
- 黒岳野営指定地については 1 人用テント換算で 35 張程度の幕営が可能です。例年特定の日に混雑し、野営指定地をはみ出しての幕営を余儀なくされる状況にあります。密な状況を避ける目的と、指定地以外での幕営が自然環境に与える影響を考慮し、週末や混雑予想日についてはご利用を控えていただきますようお願いいたします。

※施設維持協力金（トイレ利用協力金は含みません。携帯トイレの利用を推奨します。）

黒岳石室 一人 2,000 円（小学生以下 1,000 円）

野営指定地 一人 500 円（小学生以下 500 円）

お問い合わせ先

(株) りんゆう観光 層雲峡事業所 TEL 01658-5-3031

令和3年5月14日

関係各位

大雪山国立公園連絡協議会
北海道大学大学院農学研究院

大雪山国立公園の保護と管理に関する意識調査のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当方の研究・教育へご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

大雪山国立公園連絡協議会では、将来の大雪山の目指す姿を定めた大雪山ビジョンにおいて、協働による管理運営すすめるための取り組みとして、国際的な保護地域の評価手法である「管理有効性評価」の実施をあげております。管理有効性評価は国際自然保護連合が提唱し、世界銀行などが手法を開発したもので、生物多様性条約の成果を検証する指標の一つともなっています。我が国では、環境省国立公園課により、2018年より評価シートが作成され、国内数カ所の国立公園で評価が試行されています。

現段階の評価は、管理者自身と専門家が中心です。他国では地域の利害関係者とのワークショップや意見聴取を取り入れている例も少なくありません。今回の調査は、管理有効性評価を改善し、進展させるため、大雪山ビジョンへの取り組みを評価するため、地域の関係者の皆様を対象に、将来と現状の課題、管理運営の問題点、協働型の取組へのご意見などについて伺うものです。評価結果は、大雪山国立公園連絡協議会や各部会で報告させていただき管理運営計画の策定に活用します。また、学術雑誌等に投稿し、国際的な管理有効性評価の手法の改善にも寄与するものと考えています。

お忙しいところとは思いますが、皆様のご回答をお寄せくださいますようお願いいたします。いただいたご回答は、分野ごとに取りまとめて分析し、個々の所属とお答えをそのまま公開し、分析することはありません。また所属される機関や企業、団体を代表する意見として扱うこともございません。そのため、各団体で複数のご回答をいただいても構いません。

ご回答は、あくまでも任意です。保護地域管理の研究と学術の発展のためご協力いただける場合には、別紙の回答用紙に記入いただき、同封の封筒でご返信いただくか、下記のWebサイトにてご回答下さいますようお願い申し上げます。回答用紙が不足する場合は、お手数ですがコピーをお願いします。

敬具

回答サイトURL（作成中）

<http://>

調査実施・問い合わせ先：

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也

北海道大学大学院農学院 修士課程 閻安

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話:011-706-2452 メールアドレス:tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

大雪山国立公園の保護と管理についてご意見をお聞かせ下さい

大雪山国立公園の現状や、ビジョンを実現する取り組みなどについて、将来と現状の課題、管理運営の問題点、協働型の取組へのご意見などについて伺うものです。

いただいたご回答は、分野ごとに取りまとめて分析し、個々の所属とお答えをそのまま公開し、分析することはありません。また所属される機関や企業、団体を代表する意見として扱うこともございません。

大雪山国立公園連絡協議会・北海道大学大学院農学研究院
調査実施・問い合わせ先：北大農学研究院 愛甲哲也 閻安
〒060-8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目 電話：011-706-2452
メールアドレス：tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

問 1 あなたは、大雪山国立公園における現状の風致景観、地形・地質・自然現象、植生及び野生生物、文化資源の保全の取り組みは、適切に行われていると思われますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
風致景観の保全	1	2	3	4	5	6
雄大で原生的な自然景観						
地形・地質・自然現象の保全						
火山活動起因する地形や寒冷地の地形・地質現象	1	2	3	4	5	6
植生及び野生生物の保全						
標高の変化に応じる植生の変化、多様な野生動物、特に絶滅危惧種、固有種など	1	2	3	4	5	6
文化資源の保全						
アイヌ文化、産業遺産、大雪山に関する文学や芸術作品など	1	2	3	4	5	6

問 2 あなたは、大雪山国立公園を保全しつつ適正な利用を図る上で、現状で問題となっていると感じる点がありますか。以下の項目について、当てはまる番号全てに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1 人の踏み付けによる登山道や散策路の荒廃 | 2 登山道や散策路の整備 |
| 3 登山者の増加に伴う登山道の混雑 | 4 駐車場の混雑や観光道路の渋滞 |
| 5 観光客による観光拠点（温泉や展望台、ビジターセンター等）の混雑、渋滞 | |
| 6 野営地の利用に伴う裸地化 | 7 トイレのない野営場、登山道のし尿問題 |
| 8 ゴミの放置、散乱 | 9 植物の違法採取 |
| 10 外来生物の侵入 | 11 エゾシカによる植生被害 |
| 12 ヒグマによる人への危害 | 13 公園内の規制やルールの管理不足 |
| 14 標識・地図の不備・破損 | 15 施設（トイレ、山小屋等）の不足または老朽化 |
| 16 建築物の廃屋の増加 | 17 開発行為（観光道路、ダム建設、鉱業採掘等） |
| 18 新型コロナウイルス感染症の拡大 | 19 地球温暖化による気候変動 |
| 20 その他（ | ） |

問3 あなたは、大雪山国立公園を保全しつつ適正な利用を図る上で、将来的に問題になると懸念される点はありますか。以下の項目について、当てはまる番号全てに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1 人の踏み付けによる登山道や散策路の荒廃 | 2 登山道や散策路の整備 |
| 3 登山者の増加に伴う登山道の混雑 | 4 駐車場の混雑や観光道路の渋滞 |
| 5 観光客による観光拠点（温泉や展望台、ビジターセンター等）の混雑、渋滞 | |
| 6 野営地の利用に伴う裸地化 | 7 トイレのない野営場、登山道のし尿問題 |
| 8 ゴミの放置、散乱 | 9 植物の違法採取 |
| 10 外来生物の侵入 | 11 エゾシカによる植生被害 |
| 12 ヒグマによる人への危害 | 13 公園内の規制やルールの管理不足 |
| 14 標識・地図の不備・破損 | 15 施設（トイレ、山小屋等）の不足または老朽化 |
| 16 建築物の廃屋の増加 | 17 開発行為（観光道路、ダム建設、鉱業採掘等） |
| 18 新型コロナウイルス感染症の拡大 | 19 地球温暖化による気候変動 |
| 20 その他（ | ） |

問4 あなたは、大雪山国立公園における、自然の保護や施設の維持管理は、適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
登山道や歩道の維持管理	1	2	3	4	5	6
山小屋や野営地の維持管理	1	2	3	4	5	6
植生復元事業	1	2	3	4	5	6
公園内の巡視（登山道、野営場など）	1	2	3	4	5	6
公園内の清掃	1	2	3	4	5	6
外来生物の除去作業	1	2	3	4	5	6
携帯トイレ利用の推進・普及	1	2	3	4	5	6
公園利用マナーの徹底	1	2	3	4	5	6

問5 あなたは、大雪山国立公園における、利用者のための施設の設置・整備は、適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
登山道、歩道の整備	1	2	3	4	5	6
山小屋の整備	1	2	3	4	5	6
野営場及び関連施設の整備（広場等）	1	2	3	4	5	6
トイレの整備	1	2	3	4	5	6
登山口の駐車場の整備	1	2	3	4	5	6
ロープウェイやリフトの整備	1	2	3	4	5	6
道路や公共交通機関の整備	1	2	3	4	5	6
温泉街や宿泊施設の整備	1	2	3	4	5	6
標識・案内板の整備	1	2	3	4	5	6
ビジターセンターの整備	1	2	3	4	5	6

問 6 あなたは、大雪山国立公園における、利用者のためのサービスの提供は、適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
利用者の安全対策 (注意喚起、情報提供など)	1	2	3	4	5	6
公園の管理目標に沿った普及啓発の実施 (自然解説、パンフレット)	1	2	3	4	5	6
利用者のニーズに対応したツアー・プログラムの提供	1	2	3	4	5	6
外国人観光客の受け入れ環境整備 (掲示板、パンフレット、Web 等の多言語化、 ビジターセンターの多言語対応)	1	2	3	4	5	6
利用施設の新型コロナウイルス感染症への対応	1	2	3	4	5	6

問 7 あなたは、大雪山国立公園における公園計画や管理計画、ルールに基づく規制や指導は、どのくらい適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
公園の保護規制計画による建築物の設置 や開発行為	1	2	3	4	5	6
公園の保護規制計画による動植物の捕獲・ 採取などの行為	1	2	3	4	5	6
車馬・動力船の使用や、航空機の着陸	1	2	3	4	5	6
高原温泉・銀泉台、層雲峡における マイカー規制	1	2	3	4	5	6
冬季のスノーモビル乗り入れ	1	2	3	4	5	6
登山道での自転車等の乗入れ	1	2	3	4	5	6
野営場及び野営指定地以外での野営	1	2	3	4	5	6
植生保護のための歩道外への立入り	1	2	3	4	5	6
残雪時の雪渓上でのスキー利用	1	2	3	4	5	6
山岳地帯へのペット類の持ち込み	1	2	3	4	5	6

問 8 あなたは、大連協をはじめとした協議会や部会の運営について、どのように思いますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	そう 思 わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う	わ か ら ない
幅広い分野の関係者が参加している	1	2	3	4	5	6
協議会、部会の開催頻度は適切である	1	2	3	4	5	6
会議時間の長さは適切である	1	2	3	4	5	6
会議は発言しやすい雰囲気である	1	2	3	4	5	6
一人当たりの発言時間は十分である	1	2	3	4	5	6
協議会、部会の開催会場へのアクセスが良い	1	2	3	4	5	6
現地にいなくても会議に参加する機会がある (オンライン)	1	2	3	4	5	6
関係者の提案や意見が、各種計画書などに反映されている	1	2	3	4	5	6
関係者の提案や意見が、関係機関や団体などの施策や取り組みに反映されている	1	2	3	4	5	6
協議会で討論された重要な課題について迅速に対応できている	1	2	3	4	5	6
公園での様々な事業に関係者が参加する機会がある	1	2	3	4	5	6
関係者の意見を取り入れる体制が常に確保されている	1	2	3	4	5	6
管理運営状況に関する情報は一般向けにも公開されている（各種計画、調査データ、調査報告書等）	1	2	3	4	5	6
一般公開されている情報は理解しやすい	1	2	3	4	5	6
協働型管理運営を通してビジョン、保護管理目標を達成できる	1	2	3	4	5	6
協働型管理運営は地域振興（生活の質の向上、経済的な発展等）にも役立つ	1	2	3	4	5	6

問 9 協議会や部会の運営について、問 8 の項目の他に、気になる点があれば教えてください。

問 1 0 あなたの性別を教えてください。当てはまる番号 1 つに、○をつけてください。

1：男性

2：女性

3：その他

問 1 1 あなたの年齢を教えてください。当てはまる記号 1 つに、○をつけてください。

ア：20代

イ：30代

ウ：40代

エ：50代

オ：60代

カ：70代以上

問 1 2 あなたは、大雪山国立公園で活動している以下の団体に所属していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

1：国の行政機関

2：北海道の行政機関

3：市町村の行政機関

4：交通事業者

5：観光事業者

6：観光協会

7：山岳ガイド

8：自然公園指導員

9：市民団体

10：自然保護団体

11：パークボランティア

12：山岳会

13：研究者

14：その他（ ）

問 1 3 あなたは、大雪山国立公園連絡協議会に所属していますか。

1：所属しています

2：所属していない

問 1 4 あなたは、大雪山国立公園にある登山道維持管理部会に所属していますか。

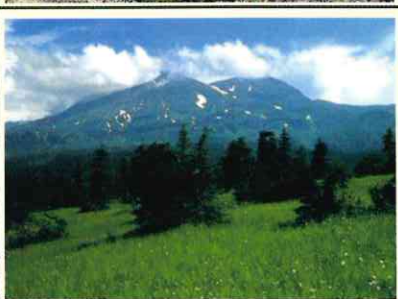
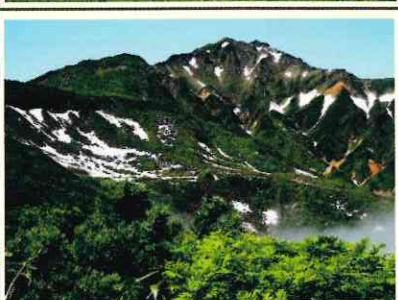
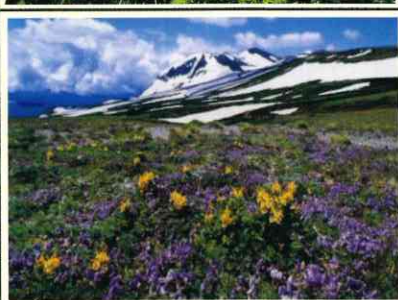
1：所属しています

2：所属していない

問 1 5 大雪山国立公園の保護や管理運営について、他に何かご意見がありましたらお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

2021 年度第 41 期大雪山講座「ひぐま大学」講座一覧

項目	実施	名称	主な講座内容・ 講座ルート・ 行動時間帯・ 登山時間距離	学習
入学式	5月23日(日)	第41期入学式	▶ 内容…入学式(ひぐま大学の概要と歩み、フィールド講座と室内セミナーの実施要領、参加申し込みと費用の支払い、紀要の説明) その他(スタッフ紹介、顔写真の撮影) ▶ 学習…安全登山の心得(装備、基礎技術、事故防止など) 室内セミナー(第7講座) 時間帯 14:00～16:30 会 場 神楽公民館	
第7講座	5月30日(日)	然別湖・白雲山	▶ 内容…溶岩円頂丘や堰止湖を生んだ然別火山、周辺に広がる風穴の不思議の世界を訪ね、ナキウサギやカラフルランジミなど貴重な動植物を育む異なる環境について学びます。 ▶ 行程…旭川＝三国峠→然別湖→トウマベツ登山口→白雲山(1186m)→登山口→糠平温泉＝旭川《往復》 時間帯 5:00～19:00 登 山 約 4 km・約 6 時間	 5月23日(日)
第8講座	6月27日(日)	滝見台・第一公園	▶ 内容…羽衣の滝を全貌できる滝見台を経て、忠別川森林生態系保護地域に指定されている天人峡渓谷沿いに、ポンカウン岳山麓の高層湿原第一公園を訪ねます。渓谷越しの旭岳の山容、静寂な高層湿原が見所。 ▶ 行程…旭川＝天人峡登山口→涙壁(33曲)→滝見台→第一公園(1360.4m)《往復》 時間帯 6:00～19:00 登 山 約 12 km・約 9 時間	 6月23日(水)
第9講座	7月25日(日)	富良野岳	▶ 内容…十勝火山群の中で比較的初期に形成された富良野岳を訪れ、その成り立ちや生い立ちについて学びます。十勝連峰きっての花の名山で、エゾリソウ始めたくさんのお花と出会うこと請け合いです。 ▶ 行程…旭川＝十勝岳温泉→安政火口→上木口分岐→7合目お花畑→富良野岳肩分岐→富良野岳(1912.2m)《往復》 時間帯 5:30～19:00 登 山 約 10 km・約 10 時間	 7月21日(水)
第10講座	8月22日(日)	赤岳・小泉岳・緑岳	▶ 内容…大雪山の花苑を連ねるゴールデン・コース。大雪山を代表する高山植物の大群落が次々と登場します。ダイナミックなスケールの景観も見どころです。大雪山の成り立ちと周水河地形について学びます。 ▶ 行程…旭川＝銀泉台→コマクサ平→第3・第4雪渓→赤岳(2078m)→小泉岳(2158m)→緑岳(2019.5m)→第2・第1お花畑→高原温泉《縦走》 時間帯 5:00～20:00 登 山 約 12 km・約 11 時間	 8月18日(水)
第11講座	9月12日(日)	浮島湿原・白滝GP	▶ 内容…標高 850～870mの溶岩台地に広がる山地性高層湿原・浮島湿原を訪れ、幽玄に満ちた湿原を散策します。大小 70 余の沼やエゾヒツジグサ、モウセンゴケトキノソウ等の湿原植物を堪能します。その後白滝を訪れ、展示館でジオパークについて学びます。 ▶ 行程…旭川＝上川町・浮島 IC～浮島湿原(870m)＝白滝＝ジオパーク展示館＝旭川《湿原は周回》 時間帯 6:00～19:00 行 動 約 3.5 km・約 8 時間	 9月8日(水)

修学旅行	10月9・10日(土日)	江差・渡島半島	▶内容…渡島半島の南端に位置する松前山地と上磯山地に囲まれた江差・上ノ国の海岸線を訪れ、北海道がどのようにしてできたかその形成の舞台を見て回ります。1億年前の海底火山の痕跡や、道北とは違う森林植生など多様な北海道の自然について学びます。 ▶行程…旭川＝七飯＝厚沢部＝江差～鷗島＝上ノ国＝子砂子海岸＝江差＝七飯＝旭川《1泊2日》		10月6日(水)
			時間帯 6:00～翌 20:00 行 程 バスツアーと散策		
夏山を語る集い	11月10日(水)	夏山を語る	▶内容…夏の講座が終了したところで、それまでの講座のスライド等を見ながら、夏山の反省と意見交換会を行います。お弁当やお酒も出て受講者・スタッフの親睦会も兼ねています。講座で大変だったこと、改善してほしいこと、次年度の講座の要望など、自由に語り合う集いです。		
			時間帯 18:00～21:00 会 場 ときわ市民ホール		
第12講座	2月13日(日)	美瑛富士山麓	▶内容…十勝火山群の最後に形成された美瑛富士の山麓を訪れ、ナキウサギやクマゲラが生息するアカエゾマツやトドマツ、ダケカンバの巨木の森をスノーシューで散策します。この時期でないと行けない森の中で、豊かな森と十勝連峰の生い立ちを学びます ▶行程…旭川＝白金温泉～美瑛富士山麓・天然庭園～白金温泉＝旭川《往復》		2月9日(水)
			時間帯 7:00～18:00 登 山 約 4 km・約 7.5 時間		
卒業式	3月12日(土)	卒業・修了式	▶内容…卒業式(卒業証書・修了証書・特別卒業証書・皆勤賞・精勤賞の授与、卒業生・来賓メッセージ)に引き続いて、楽しい祝賀会(祝賀会、オークション、メッセージ、校歌斉唱)があります。中でもオークションは人気の的です。 ▶紀要…「カムイミントラ」第 41 号発行		
			時間帯 18:00～21:00 会 場 扇松園(高砂台)		
開講の趣旨	大雪山講座「ひぐま大学」は、大雪山系を主なフィールドに、四季を通じて実施される市民のための自然観察講座です。北海道の高峰が集まる大雪山国立公園の山々を登って、大自然の成り立ちや営み、そこに生きる動植物や地形などについて学び、このかけがえのない恵み豊かな自然をよりよい姿で次世代にひきつぐことを願って開かれています。 開講から 40 年が経ち、受講者数はすでに 2200 名(延べ)を超えました。すばらしい自然とすてきな人々との感動的な出会いを求めて、たくさんの皆さんが参加して下さいを願っています。				
	【1】講座は2年制で、毎年フィールド講座 3 講座以上の出席が必要です。1年で修了、2年で卒業です。(修了証書・卒業証書が授与されます) 【2】講座には登山経験のあるスタッフが同行し安全を期しますが、原則として登山行動は自己責任です。 【3】室内セミナーは、フィールド講座の説明と事前学習を行います。学習は知人・友人・家族も参加できます(資料を希望する場合は資料代が必要です)。会場は神楽公民館(神楽3の6)です。 【4】現地までの交通は、参加人数に応じて手段が変わります。参加者は、傷害保険が適用されます。 【5】入学の申し込み・申込金 6000 円(テキスト代・紀要代・運営経費等)は、新規・継続いずれの場合も毎年必要です。 【6】フィールド講座の参加費(交通費等)は、概ね一講座 5000 円～10000 円(修学旅行や特別講座は別途)です。 【7】修学旅行と特別講座は、聴講生を募集(参加費は 2000 円高)します。 【8】講座の出欠は、年度始めの講座を除いて一つ前の講座の室内セミナーのときに確定します。 【9】参加費の支払いは、室内セミナーの時にお願いします(4日前までのキャンセルは半額返却)。 【10】安全管理のため、入学時に健康等に関する問診票の提出をお願いします(使用・管理は厳守)。 【11】卒業後も繰り返し入学することができます。				
実施要領					